

**「青空のむこう」**

アレックス・シアラー／著 金原 瑞人／訳

求龍堂

2002年 5月発行

2階一般開架図書 (請求記号：933.7/シア)

主人公の少年ハリーは姉とひょんなことから喧嘩して家を飛び出し、交通事故に遭って死んでしまう。気づいたら、そこは死者の国だった・・・

この物語は彼が「やり残したこと」をして「彼方の青い世界」に行くまでのおはなしです。著者のアレックス・シアラーが描く「死者の国」が非常にユニークで、ひょっとしてこんな世界になっているのかなと信じてしまうほど。

何気ない日常に感謝することを、生きることの大切さや喜びを、ほんのささいなひと言の重さを、家族の存在の大きさを、改めて感じ涙した作品です。

**「長宗我部元親のすべて」**

山本 大／著

新人物往来社

1989年 8月発行

2階郷土 (請求記号：k/289/チヨ)

昨今の戦国武将ブームの中、にわかに脚光を浴びはじめた一人が長宗我部元親である。ご存じの通り、土佐の一国人領主から身をおこし、一旦は四国制覇を成し遂げたとされる。しかし、関ヶ原の敗戦により家系が江戸時代まで存続しなかったこともあり、残存する客観的史料が少なく、謎も多い人物である。

注目の元親について、また長宗我部一族やその時代背景について学習するための格好の入門書が本書である。編者の山本大氏（故人）をはじめ、執筆者はほとんどが県内在住の方々で、元親の人間像、縁辺の人々、土佐統一から四国制覇への過程、一条氏、安芸氏、本山氏などのライバルとなった諸将の盛衰等多方面から長宗我部元親とその時代の土佐にアプローチできる。巻末には「長宗我部氏家臣団人名辞典」、「長宗我部氏系図」、「長宗我部元親年譜」、「長宗我部氏関係文献目録」等々を掲載。

11月からは「坂の上の雲」の放送がはじまり、さらに来年の大河ドラマは「龍馬伝」。しかしその前に、今年はず本書を手にとって、元親と長宗我部一族をきわめてみては・・・。